

株式会社渡辺製作所

岐阜県各務原市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

射出成形機・押出機部品のエキスパートとして、先駆的な技術をユーザーと共有・共通化することで顧客と共に成長発展する企業

- 職種を問わず現地・現物・現実を重視した情報の「見える化」を実施することで、自立型人材育成に成功
- 他社が敬遠する超大型スクリューの製造や材料に応じた複雑形状スクリューの製造技術を高度化
- 成形技術のコンサルテーション、サポート業務は他社が真似できない独自の競争優位性を持つ

企業基本情報

所在地	岐阜県各務原市鷺沼川崎町 2-143
電話/FAX	058-389-3701/058-371-1283
URL	http://www.watanabe-seisaku.com
代表者	代表取締役社長 渡邊 正彦
設立	1967年
資本金	900万円
従業員数	53人



会社概要

創業以来、射出成形機・押出機のスクリュー、シリンダー、各種部品の設計・製造からメンテナンスまでを社内一貫体制で行っている。国内トップの設備力・生産力を有し、時流であるプラスチック製品の大型化、材料素材の複雑化にスピーディに対応してきた。スクリューのエキスパートとして、成形機メーカーや国内外の樹脂製品製造業のものづくりを支えている。



左：複雑形状のスクリュー
右：高度な切削加工技術を要する関連部品
(逆流防止弁・ノズル等)

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

セクショナリズムを打破した人材育成を展開

製造部門の社員については、機会をみて営業担当やメンテナンス部門の社員と客先へ帯同訪問させている。自分が製造に携わった製品が、客先で活用されている状況を現地・現物で確認し、自身の仕事について社会への貢献度を認識してもらっている。また客先の生の声（ニーズ）を製造担当がダイレクトに収集することで、顧客対応が円滑に行われる。これらの取組を継続して行うことで社員のモチベーション向上と、自ら考え行動する自立型人材育成に繋がっている。



製造担当社員も積極的に客先へ出向き、ユーザーの現状を現地・現物で把握することで仕事へのやり甲斐を高めている

革新的な生産プロセス改善により低コスト化・短納期を実現

あらゆる業種のプラスチック成形部品は大型化・複雑化している。スクリュー製品のユーザーである樹脂製品製造メーカーは国際価格競争下においてコスト削減は喫緊の課題となっていた。同社では客先のコスト・納期・品質の要求に対応するため、国内随一の大型スクリュー加工機により、他社ができない超大型スクリューの生産能力を向上させた。また多種少量のスクリュー製造について設計から検査までを一貫生産できる強みがあり、低コスト・短納期を実現させ顧客から高い評価を得ている。



国内随一のワーリング方式大型スクリュー加工機
超大型スクリュー（外径φ220 全長6m）

トータルサポート体制が顧客からの信頼を勝ち得る

近年、プラスチックの役割が多様化し、樹脂にガラスやセラミック、炭素繊維等の異素材を混ぜるなど、使用される素材が複雑化している。同社は素材に応じて最適なスクリューの形状を提案することに加え、スクリューが最大限のパフォーマンスを発揮できるよう最適な成形条件についてコンサルテーションを実施している。ユーザーである樹脂製品製造メーカーに対して、セミナーを開催し成形不良のメカニズムを理解してもらい不良削減に自立的に取り組めるよう、フォロー体制を整えている。



ユーザーに対して樹脂加工のメカニズムを解説